

令和6年 第3回 市議会定例会

市長所信表明（要旨）

蕪 崎 市

本日ここに、令和6年第3回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今月、開催されましたパリ2024オリンピック競技大会において、本市出身の文田健一郎選手が、レスリング男子グレコローマンスタイル60kg級で見事に金メダルを獲得し、この種目の日本選手では40年ぶりという輝かしい快挙を成し遂げられました。

優勝候補として臨んだ東京オリンピックでは銀メダルに終わり、さらなる高みを目指して、「五輪の借りは五輪で返す」と、3年間紆余曲折を経るなか、強い意志とひたむきに目標の実現に向けて練習を重ね、悲願の金メダルの栄誉に浴しました。

市役所で開催したパブリックビューイングには、深夜にもかかわらず、母校の韭崎工業高校のレスリング部員をはじめ、多くの市民の皆様にお越しいただき、ふるさと韭崎の地から私も一緒にエールを送らせていただきました。

試合後のインタビューで述べた、現地や日本からの声援に対する感謝の気持ちや、世界選手権で敗れ、得意技の「そり投げ」で雪辱を果たした相手選手をリスペクトする言葉など、人間性も含め、その姿は多くの方々に希望と感動を与えてくれました。

これまでのご功績とこの度のご活躍に対し、改めて市民を代表して心から祝意と敬意を表するとともに、10月12日の市制祭において市民の皆様と共に祝福したいと考えておりますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

一方、今月7日には、1時間雨量が観測史上最大となる69.5ミリの猛烈な雨により、大雨警報をはじめ、土砂災害警戒情報が発令されたことから、水防本部を設置し、情報収集を行うとともに、市職員及び消防団による出水現場での応急対応などを行ったところであります。

被害につきましては、市街地等での床下浸水や道路の冠水、穂坂町の土砂崩落や一部地域の停電などが発生いたしました。幸いにも人的被害はなく、安堵したところであり、今後も万全の体制及び災害対応に取り組んでまいります。

また、8日には、宮崎県沖で発生した地震を発端に、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会の調査結果を受け、気象庁から「巨大地震注意」が発表されたことから、市民の皆様に、水や食料等の備蓄、家具類の固定、避難場所等の経路の確認、家族との連絡方法などの「日ごろの備え」について再確認をお願いするとともに、翌日に緊急課長会議を開催し、情報共有及び第2配備体制を整えたところであります。

注意の呼びかけは終了しておりますが、今後、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではありませんので、市民の皆様には、今回を教訓に、引き続き防災への備えをお願いいたします。

来月 1 日に予定しておりました地震を想定した総合防災訓練につきましては、過去最大級とされる台風 10 号の接近により、警戒態勢を整えることや参加者の危険回避のためやむなく中止としたところであります。

連日の記録的猛暑による熱中症対策として、深刻な健康被害の恐れがある場合に発表される「熱中症特別警戒アラート」の運用が開始され、本市におきましては、クーリングシェルターとして、庁舎、保健福祉センター及び市民交流センターを指定するとともに、民間の 2 つの事業所の協力を得て、店舗を利用できる協定を締結したところであります。

また、冷水機やのぼり旗を設置することにより、アラートの発令時以外においても、市民の涼み処としていつでも利用できることとしております。

今月 1 日に開催いたしました、高校生議会では、市内の高校から 14 名の高校生が議員として参加され、まちづくりについての質問や提案をいただきました。

将来を担う生徒が地域の実情に関心を持ち、自らの手で調べ、質問する姿に感銘し、これからも積極的にまちづくりに参画していただけることを期待するとともに、若者の意見を今後の市政運営に反映してまいります。

11 日には、市制施行 70 周年記念事業の一環として、青山学院大学陸上競技部・長距離ブロック監督の原晋氏をお招きし、講演会を開催いたしました。

ご参加いただいた多くの市民の皆様へ、心より感謝申し上げます。

原監督が講演で語られた「何かにチャレンジして失敗することではなく、何もチャレンジせず、ただ現状維持に満足して何も行動に移さない行為が失敗だ。」という言葉は、まさに私たち「チーム韭崎」がこれからのまちづくりにおいて肝に銘ずべきことであると認識したところであります。

今回の原監督の言葉を胸に刻み、これからも未来を見据えた先進的な市政運営に努め、本市の更なる発展に責任を果たしてまいります。

また、同日に第 6 回サンライズヒル・穂坂ヤマケンカップを開催いたしました。

当日は、県内外から 312 名が参加され、小学生から 70 代まで幅広い年代の方々が、国内外の様々な大会でも活躍するゲストラナーとともに穂坂自然公園を駆け抜けました。

今回は、参加者のニーズや市内における消費動向を調査するため、宿泊事業者と連携した料金の割引を試行したところであり、今後も、通年型のイベントの展開により、スポーツツーリズムを通じた本市への誘客と地域の活性化に繋げてまいります。

17 日に順延した花火大会は、避難計画を策定のうえ、7 千発の花火を打ち上げるなど昨年度より規模を拡大して、開催することができました。

会場内への自家用車等の乗入禁止やシャトルバスの運行廃止など、出入り口の

混雑緩和や来場者の安全確保のために実施いたしました。周辺に思いやりパーキングを設置したことなどにより、大きな混乱もなく、昨年同様に多くの方々のご来場をいただくことができました。

これもひとえに、協賛していただいた企業をはじめ、蕨崎市商工会、各種団体の皆様方のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

なお、有料観覧席につきましては、台風の影響により事前での会場設営が困難なことから、設置を行わないことといたしました。

楽しみにしていた皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。ご理解をいただけますようお願い申し上げます。

さて、我が国の経済状況につきましては、内閣府の月例経済報告において「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」とされ、日銀甲府支店による金融経済概観でも「県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」とした総括判断をしております。

一方で、中国経済の先行き懸念や円相場、株価の変動など不安要素もあることから、市民生活はもとより市内企業への影響などに注視してまいります。

次に、本年度の主な事業の動向と新たな取組みについて申し上げます。

始めに、子育て支援の充実についてであります。

「子育てハンドブック」の内容を一新するために、10代から20代を中心とする若い世代に取材を行ってもらい、当事者目線で理解できる冊子として作成し、来月より配布いたします。

また、病児病後児保育につきましては、朝の多忙な時間帯でも空き状況の確認や予約手続きができるよう、システムを導入するほか、利用料についても新たな負担軽減を行い、働く子育て世帯を支援する環境の整備を図ってまいります。

さらに、小学校の新入学児童に対し、リュックサック型のランドセル、若しくは入学準備金をお贈りすることとし、教育と子育て環境の充実に繋げてまいります。

次に、健康づくりの推進についてであります。

築後25年を経過した保健福祉センターにつきましては、躯体の長寿命化や機械設備等の全体的な更新を行い、健康増進事業の拠点としての機能の充実とサービスの向上を図るための事業費を予算計上したところであります。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

10月13日に蕨駅前広場をメイン会場として、スポーツと環境美化活動を融合させた「スポGOMI×スポCOMI in にらさき」を開催いたします。

市制祭の翌日の設定で、チームの仲間と楽しみながら参加できるスポーツ活動を通じ、海洋ごみ問題や資源の分別の大切さを体感し、社会奉仕活動への意識を

高める機会を提供してまいります。

また、11月23日には、**葦崎市営体育館**で幼児から高齢者まで誰でも気軽に参加できる「ゆるスポーツフェスタ&マルシェ」を開催いたします。

新体育館のオープンまで1年余りとなり、本市のスポーツの中心的役割を担ってきた体育館への感謝のイベントでもありますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

次に、商業の振興についてであります。

本年度から開始した「ビジネスチャレンジ支援事業補助金」につきましては、当初の予定を上回る申請を受け付けている状況であり、今後も、本事業の活用により、小規模事業者の経営の維持や改善、拡大等が促進されることを期待しております。

また、空き店舗等を活用した「起業支援補助金」につきましても、まちなかエリアを中心に、ジェラート店やカフェなど飲食業の出店が相次いでいるほか、市内全域で小売業や宿泊業など、積極的な活用をいただいていることから、補助金を交付するための経費を予算計上しており、さらなる商業による地域活性化を図ってまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

10月開催の「**葦崎市制祭 (Shi-Say-Sai)**」につきましては、6年ぶりに本町通り及び駅前通りを会場として、誰もが楽しめる新しいスポーツとして考案された「ゆるスポーツ」、市内外の人気ベーカリーを一同に集めたパンまつり、地元小中学生による鼓笛や吹奏楽、県内で活動するアマチュアバンドの演奏、子ども達に人気の「はたらく車」の乗車体験などを行う予定であります。

また、特別企画として、浅草サンバカーニバル、**塩崎太夢**^{しおさきとむ}氏によるパフォーマンスのほか、市民の皆様による出演や出店など、訪れる方々の心に残るイベントとなるよう、これまで以上に内容を充実させてまいります。

さらに、併せて開催する「秋のにらさきワインフェスティバル」につきましては、JR**葦崎駅前**広場のブースをはじめ、市内参加飲食店を巡りながら、様々な**葦崎ワイン**を楽しんでいただくことができるよう実施いたします。

次に、国際交流の推進についてであります。

過日、実施しました「ホームステイ事業」では、5年ぶりにフェアフィールド市の学生等7名を迎え、小中学校をはじめ、多くの市民の皆様と様々な場面で交流し、本市の文化や歴史に触れていただきました。

また、12月には、国際的な感覚を持った人材を育成するため、市内在住の中学・高校生を対象に、同市への学生の派遣を予定しているところでありま

今後も両市の友好と交流を深めつつ、市民の皆様にとりましても異なる文化を体験する貴重な機会となるように努めてまいります。

次に、積極的な情報発信についてであります。

本市の認知度を高め、「選ばれるまち」とするため、手法や体制等を調査研究しておりますが、主な取組みとして、かねてより準備を進めておりましたKADOKAWA グループ運営の「ウォーカープラス」に本市独自のウェブサイトを開設いたしました。

トレンドに関心の高い、20代から40代のユーザーが多く、また、子育て関連のサイトにも連携を図れることから、特に県外の子育て世帯やふるさと納税者などをターゲットに情報発信できるものと期待しているところであります。

このほか、専属のカメラマンと協力してのインスタグラムへの投稿やプレスリリースの見直し、LINE機能の活用、職員への研修などを実践しているところであり、引き続き、効果的な情報発信ができるよう、広報戦略の策定に取り組んでまいります。

次に、市有財産の活用についてであります。

旧葦崎東保育園や静心寮跡地などの市有財産につきましては、不動産鑑定やアスベスト調査の実施、用地の利用価値を高めるための道路拡幅工事などを実施し、今後、定住促進を目的とした人口対策なども視野に入れ、有効活用を検討してまいります。

次に、今議会で認定をいただく、令和5年度決算についてであります。

一般会計における歳入総額は、186億3,374万8千円、前年度に比べ、8.5%の増、歳出総額は、180億6,010万4千円、前年度に比べ、9.2%の増となっております。

歳計剰余金は、5億7,364万4千円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、4億4,140万2千円であります。

また、「実質単年度収支」は、2億7,814万円の赤字となっており、財政調整基金やその他特定目的基金の残高の合計は、前年度と比べて4億4,256万1千円減少しております。

なお、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」につきましては、法人市民税の減少等により、95.1%と、前年度より8.4ポイント悪化しております。

次に、「健全化判断比率」につきましては、「実質公債費比率」が0.9ポイント上昇し、10.5%、「将来負担比率」は7.7ポイント減少し、56.9%となり、いずれの指標も早期健全化基準を大きく下回る結果となっております。

また、特別会計につきましても、実質収支の総額が7,510万6千円となり、堅実な財政運営を行うことができたところであります。

なお、企業会計におきましても、概ね堅実な収支状況となっておりますが、病

院事業会計につきましては、医業収益が前年度から増収となったものの、今年度も純損失1億6,055万4千円となったところであります。

引き続き、安定的かつ継続的な医療の提供を目指し、経営改善に取り組んでまいりたいと考えております。

議員各位のご協力と市民の皆様のご理解に支えられ、令和5年度も健全財政を維持できたところでありますが、なお一層、効率的で効果的な予算執行に取り組み、将来を見据えた持続可能な財政運営に努めてまいる所存であります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の6月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	1件、
予算案件	2件、
条例案件	4件、
その他案件	4件、
認定案件	17件であります。

このうち、一般会計補正予算案についてその概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、前年度繰越金や普通交付税等の確定に基づく歳入予算を計上したほか、定期人事異動に伴う職員給与費の補正並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費につきましては、定期人事異動による職員給与費を28万1千円減額補正しております。

次に、総務費であります。

令和5年度決算における実質収支の2分の1相当額を積み立てるため、財政調整基金積立金に2億2,624万3千円、市民バス竜岡線にAIオンデマンド交通システムを導入する経費として、1,607万3千円を計上するなど、総額2億4,746万3千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

国の交付基準額の変更により、民間保育所等施設整備費補助金を増額するため、子ども・子育て支援事業費を1,450万4千円、支給対象者の増により、くらし応援臨時特別給付金給付事業費を4,622万6千円、令和5年度子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金等国庫支出金の確定により、国庫支出金等返還金に394万5千円を計上するなど、総額3,968万7千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

定期人事異動による職員給与費を796万円減額する一方、保健福祉センター改修事業費に3億8,968万4千円を追加計上するなど、総額3億8,214万6千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

耕作放棄地を再生する民間事業者に対する補助として、農業団体育成事業費を390万8千円増額する一方、県営事業費の減に伴う、市負担金の減により、県営畑地帯総合土地改良事業費を710万9千円減額、県受託事業の変更に伴い、県営農業競争力強化整備事業費を1,029万8千円減額するなど、総額2,048万3千円を減額補正しております。

次に、商工費であります。

定期人事異動及び組織改編により、職員給与費を1,300万9千円増額するとともに、市内への出店者の増加により、起業支援補助事業費に1,200万円を追加計上するなど、総額3,082万6千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

国庫補助金の確定により、工事内容を変更し、市道神山27号線等道路整備事業費を1,290万2千円増額する一方、市道神山39号線道路整備事業費を1,290万2千円、市道穴山5号線道路整備事業費を1,976万円それぞれ減額するなど、総額567万3千円を減額補正しております。

次に、消防費であります。

消防団員安全装備品整備事業助成金の採択により、消防団員の防寒衣購入経費^{ぼうかんぎ}として、消防団運営事業費に134万5千円、減災リーダー育成、防災ハンドブック作成等に要する経費として、災害対策事業費に141万6千円を追加計上するなど、総額327万5千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

大村美術館増築工事を行うため、美術館管理運営費を2,347万円増額するほか、上ノ原地区公民館分館建設費補助として、地区公民館管理運営費に280万円、穴山屋内運動場の再設計委託費として、地域体育館建設事業費に561万円を追加計上するなど、総額3,636万7千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、7億1,332万7千円の増額補正となり、現計予算額は190億3,087万4千円となります。

次に、特別会計の補正予算案であります。

介護保険特別会計につきましては、定期人事異動による職員給与費を510万1千円減額する一方、令和5年度決算に基づく国庫支出金等償還金に6,735万4千円を計上するなど、総額6,202万3千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記しておりますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

令和6年8月29日

菰崎市長 内 藤 久 夫